

生徒の声を出发点にした授業改善 ～教員のモチベーション（働きがい）を再構築～



	☆よかったところ	★お願したいこと
国語	語句の意味などの補足が多いところ。	黒板の字をきれいに書いてほしい。
社会	毎日小テストか(復習) がある所。	1つを始める問題と2つ同時に向ける問題があるといい。
数学	授業中に前の復習とどきどき取り入れ所。	よくわからないプリント集(課題) 不必要な所。
理科	くいの指名制で皆平等に答える所。	無い所。
音楽	雰囲気はいいからしっかり歌える所。	手打のいいテスト対策のプリントとかほしい。
美術	個人のペースで進められる所。	無い所。

近江八幡市立八幡中学校 校長 楠本 茂樹
 教諭 柳内 祐樹

輝け！八中みんなの学校



生徒数657 教職員数47 2

祝

八幡中学校

生徒会新聞

7777号

おめでとうございます！

始まった1984年は、私も

中学一年生でした

当時、話題にもなりました

元気な？中学校での日々

友人や先生方と、悩みながら

一生けんめい、取り組んだ

生徒会活動のことなど、

たふさく思っ出てきました

八幡中学生徒会の皆さんの

長年続之、この新聞は

本当に**スゴイ！**と

感謝の気持ちです

夢

と**友だち**を大切に

これからもがんばりましょう

又にも

令和三年一月

滋賀県知事

三日月不造

三日月知事様よりお手紙

R4.2.17 8,000号突破 ゆるキャラ「でっちゃん」誕生

2022年(令和4年)3月1日(火曜日)
展示用に拡大した8000号を囲む生徒会執行部の2年生たち～近江八幡市の八幡中～

伝統と誇り つないでいく 八幡中・手書き日刊生徒会新聞

八千号は、月十七日に達した。編集は現在、一、二年生の計二十五人が担当している。B5判の用紙に記事や絵を手書きし、B6判に縮小して印刷する。各クラスの係の生徒が隔りのホームルームで読み上げた後、全員に配布する。

八千号は、二年生の藤田真会長(ハチロウ)が執筆した。全校六百二十六人に、昨年十月、学校の「ゆるキャラ」を募集。集まった三十案の中から「でっちゃん」を選び、紙面に発表した。校内展示用は、横造紙に拡大してカラーにした。

荒れた学校変えたい 思い込め発行

近江八幡市の八幡中学校の日刊生徒会新聞が八千号の節目を迎えた。当時の教員が、「荒れた学校を立て直したい」という思いを込めて

七千九百九十九号は普段とは違面印刷で六時間かけて編集。表面はどんな学校にしたかを執行部員がつづった。裏面には飯田の副会長(ハチ)が紙面にユニコーンが駆け出し、白い鳥が羽ばたき、メッセージのイラストを描いた。

飯田副会長は「八中の伝統を思うと誇りを感じる。中川希心文化部長(ハチ)は手書きにはめりがあり、読者の心に届く」と語り、藤田会長は「八千といふ数字に、いろいろな思いや苦勞が詰まっている。読んでもらえる新聞を作りたい」と話した。



元教諭・福井さんが創刊 ありのまま伝えた「感慨深い」

創刊は38年前。八幡中の社会科教諭だった現県立大非常勤講師の福井雅英さん(74)が始めた「輝け八幡中」の学校だった。

当時、校内暴力や生徒の喫煙などが日常的にあり、「学校を変えるために、良いことも悪いことも、ありのままに伝えよう」という思いで始めた。

「八中からガム・アメ・タバコ追放を」といった記事掲載。間もなく生徒会副会長の河村裕次郎さん(故人)が引き継いだ。

河村さんも、やんちゃな生徒だった。友人から「そんなん書いても、学校は変わらんで。やめとき」と何度も言われた。「タバコ 自分の体をいじ

めるな!」「ガラス破壊 八中またく」といった記事を書き続け、後輩が受け継いだ。

発行を重ねるにつれ、学校は良い方向へ変わり始めた。4000号から題字は「輝け八中みんなの学校」に。5000号に達した2007年に中日教育賞を受けた。新聞は学校と地域の宝となった。

河村さんは14年4月、病気のため44歳で亡くなった。中学の同級生だった

妻の柴子さん(52)は「在校生の皆さんと見えな形でつながっているようで、夫も喜んでくれると思います。これからも永遠に続いていくことを願います」とコメントを寄せた。

福井さんは「教え子から『自分の新聞の編集に関わっているのがうれしい』と聞く。学校は人生の原風景。その場面に生徒会新聞があり、感慨深い。サポートを続ける教職員が存在も大きい」と話した。



<校訓>

切磋琢磨



<学校教育目標>

自らを尊び、家族や仲間、地域とつながり、
韌やかに未来を生き抜く生徒の育成

校長経営理念

- ①個に応じたきめ細やかな指導・支援の徹底
- ②主体的に活動できる生徒の育成
- ③コミュニティ・スクール活動の推進と充実

プロジェクト型の校務分掌

- ①校内研究推進部会
- ②ICT部会
- ③特別活動部会

プロジェクト① 校内研究推進部会



従来からの取組をさらに発展！

プロジェクト② ICT部会

櫻林塾



学びを止めないを合い言葉に先を予測！ 7



生徒の主体性を引き出すしかけづくり！⁸

校内研究推進部会



ICT部会



特別活動部会



教職員の「やってみよう」を引き出し、
「ヒト・モノ・ジカン」を与え、
「責任は校長がとる」と背中を押す

1. 課題の洗い出し (図式化)



2. 課題解決への問い

モチベーションを上げるには？

管理職のトップダウン

生徒の声



ペア活動の時、動きがめんどうです。
ペア活動はありだけど...

あと、復習プリントは刺さると思う。

もっと復習プリントしてほしいと思う。

前よりは、良かったと思う。

生徒の声には応えたい！

3. 取組の構想図と予想された困難

	☆よかったところ	★お願したいこと
国語	語句の意味が充足 が多いところ。	黒板の字をきれいに 書いてほしい。
社会	毎日小テストが (復習) ある所。	ノートめな問題と比べ 向かい合えるのがいい。
数学	授業中に前の復習 タイムを多く取り入れた所。	よくわからないプリント 集(課題) unnecessary。
理科	くじの指名制で皆 平等に当たる所。	無い下。
音楽	雰囲気がいから しっかり歌える所。	手打でいいテスト対策の ためのプリントとかほしい。
美術	個人のペースで 進められる所。	無い下。

全校授業評価
アンケート

グループ
G-OJT

生徒の声 × 教員の協働

不満・荒れ

多忙感



- ①抵抗感を示す教員
- ②不真面目な記述
- ③生徒からの人気・不人気の指標

教員の働きがいを再構築

授業改善で生徒が生き生き

- ①中学校特有の教科の壁
- ②公開授業回避
- ③実践意欲の格差

4. 取組の過程（全校授業評価アンケート）

① 生徒による評価に抵抗感を示す教員

- 人事評価に反映させない。
- 生徒の声がモチベーションになることを説明。
- ⇒ **表立った反対意見なしで合意形成**



② 生徒の不真面目な記述

⇒ **皆無、生徒からの期待を実感**

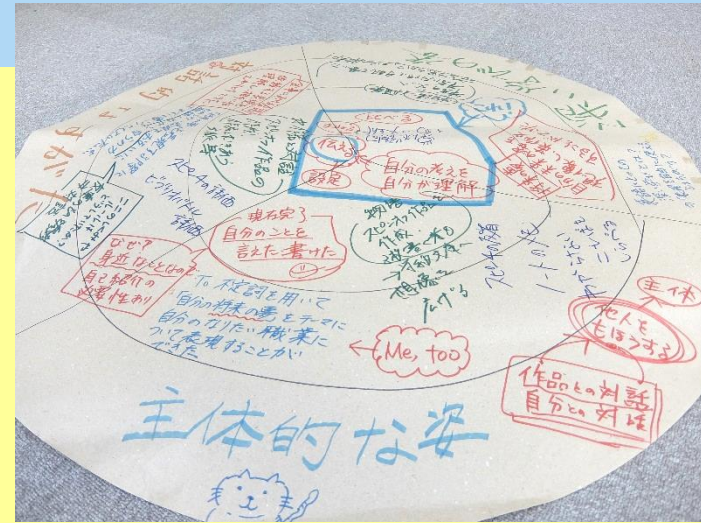
社会	4 - ③ - 2 - 1	4 - ③ - 2 - 1	電子黒板で、このことについて よく教員が教えていたこと。	この章に入る前に、 教員が教えた章の3つを 復習して欲しい。
数学	4 - ③ - 2 - 1	④ - 3 - 2 - 1	大きい声でテストで点を つけてくれること。 とを言ってくれたいこと。	授業の内容からそれし ていってほしいこと。 （授業内容） かまらなくていいから かまらなくていいから かまらなくていいから

お願いしたいこと 13

4. 取組の過程 (G-OJT)

① 中学校特有の教科の壁

- 教科横断的なグルーピング。
- 指導法でなく、学びの姿に着目。
- ⇒ **生徒を主語にした研究会の実現**



② 多忙による公開授業回避

⇒ **グループで授業を観合う機会の確保**

グループ	A				B				C				D				E				F				G				H				I			
グループ テーマ	内面への アプローチ				生徒の現状・特性に 合わせた授業づくり				思考力を高めるための 様々な手法の研究				話し合いを中心に 理解を深める授業				LLproject ~どんな相手にも伝える こんな場面で使える~				主体的な学びを通して ともに高めあえる授業				伝				学んだことをみんなに 表現する力を育てる				大人も子どもも「振り 返し」ができる授業			
お名前	奥村	北川梨	富永	音羽	中島	佐藤	西澤	岡本	小林	加藤	松林	佐田	上田	堀田	青木	藤原	矢嶋	山田	徳山	瀬下	藤井	池下	山之内	植田	木下	山本	清水	松山	佐賀野	岡元	長井	小柳	森恒	松川	中村	松本
16 水	1			道	オ		13		道	道	3-5		3-6	11		道	道	道	道	3-3	道						3-2	3-1	道	道	12	3-4	道	道	14	
	2	2-3		1-1	3-6			2-1	2-5	初	3-1	2-2		3-3	15	1-34	2-6	1-5		3-2			1-34		オ			2-4		13	3-4		オ		12	
	3	14		1-5			13	2-6	2-2	1-2	3-2	2-5	15	3-6	15	オ		1-4	1-3		11	1-6		オ	3-1		3-4	3-3	2		3-5	2-1				
	4				3-1	11			オ	1-4			3-3	13	15		2-1			2-4		1-1		1-56	3-4	3-6		1-56	2-2	11	3-5	2-5	1-3	14	2-3	
	5	2-2	3-4	1-4	3-2		13	相		初	3-6	オ	3-1	11	相	2-34	2-5	1-1	1-6	オ		1-3			15	3-5	2-34		2-5	12	14		1-2	14	相	

参観可能

4. 取組の過程（生徒の声 × 教員の協働）

③ 人気・不人気の指標となり教員間に溝

③ 教員間の実践意欲の格差



日常的なOJT



4. 取組の過程（予想を超えた取組の進展）

自主研究発表大会の開催

教員の
自信と
誇り

アウトプット
が
モチベーション

立八幡中学校
会(二次案内)

「**主体的で深い学びを実現する
指導法の工夫**」

「**学びの姿をみとる取組を通して**」

元年11月20日(水)

研究の概要 アクセス

研究・各教科の指導者

ご所属	お名前
滋賀県教育委員会幼小中教育課参事	村田 耕一 様
滋賀県教育委員会指導主事	一色 豊和 様
近江八幡市教育委員会指導主事	小崎 美香 様

タイムスケジュール

13:00	受付	13:30
13:35	公開授業	14:25
14:25		
15:35		

1年 道徳
裏庭での
～多面的・多角的～
物語の窓ガラスを割った誰かが狂言こ
から自分自身で生きるには何か大切か

授業者：徳山 清奈
指導者：近江八幡市教育委員会指導主事
※近江八幡市立八幡中学校教育研究会の遠征部会

2年 国語
パルティスセッション
～異なる立場や考えを尊重して～
異なる立場や考えを尊重しながら話し合い、自分の考えを広げ深
めます。

授業者：佐智野 剛太、森垣 倫江

ました。また、教員一人ひとりが「生徒の

15:35

授業者：矢嶋 亮太

子どもたちから評価をもらうという取組は、すばらしいと思い
ました。「良薬は口ににがし」ですね。

FAX 0748-33-0397 みください。(送付票不要)

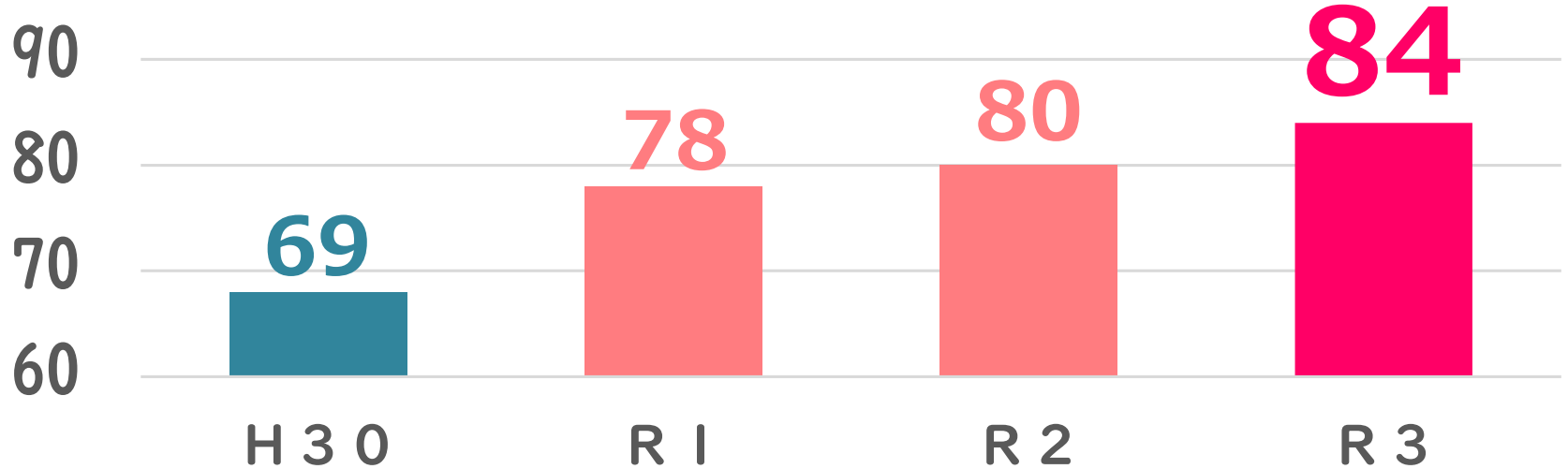
滋賀県教育委員会幼小中教育課参事
村田 耕一 様

5. 取組の成果（負のサイクルから正のサイクルへ）



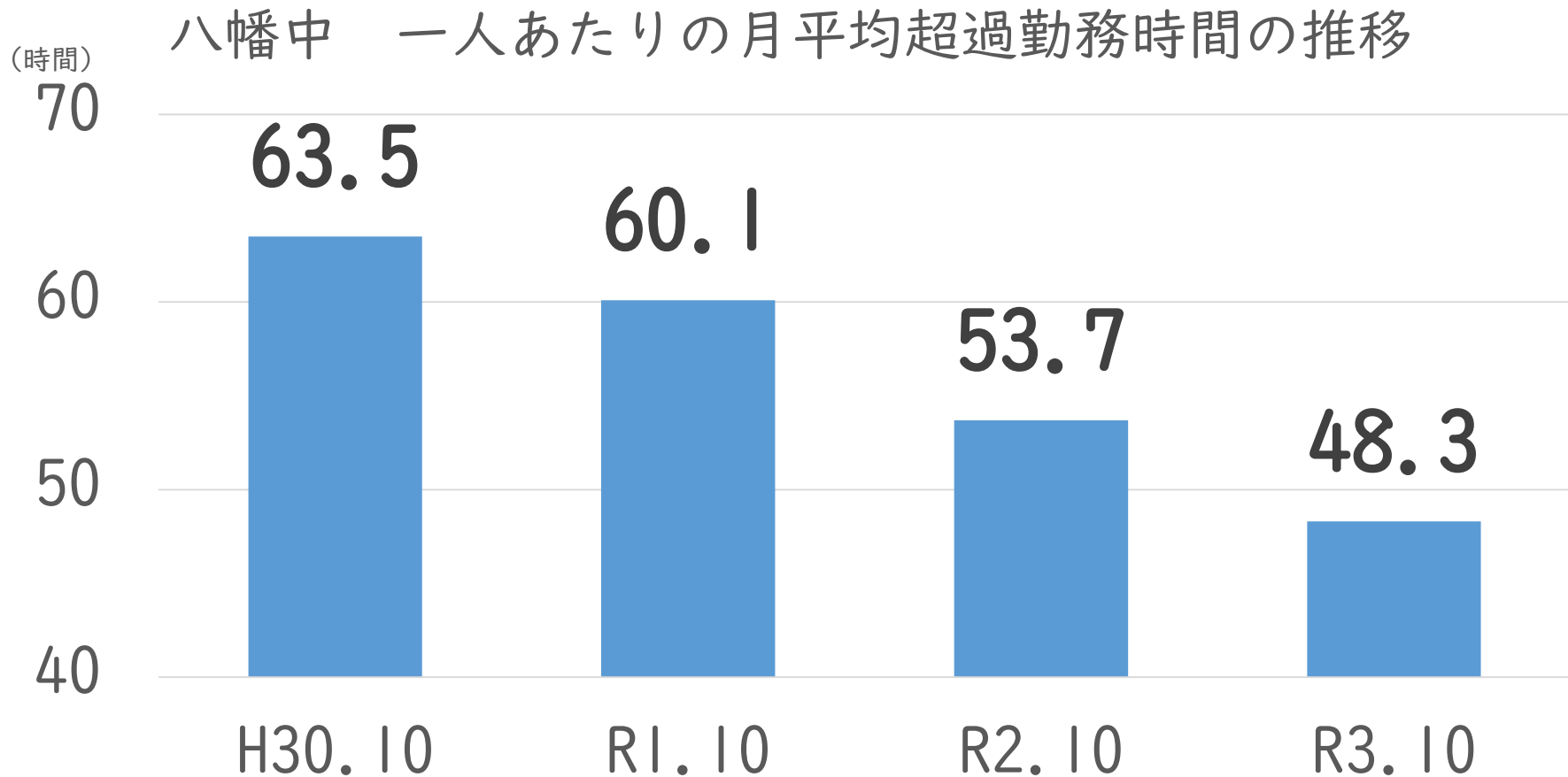
5. 取組の成果（生徒の学校評価アンケートの推移）

先生たちの授業はわかりやすく、私が学力をつけるのに大きく役立っている。



先生の授業方針はすごく工夫されていて、
それもまた効率が良いものでいつも楽しく授業を受けることができます。

5. 取組の成果（超過勤務時間の推移）



6. まとめ

主体的に授業改善に取り組むには
モチベーションが必要！

モチベを上げるには？

生徒の声（自分事の課題）

モチベを継続・向上するには？

対話（心理的安全性・成長の実感）